

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：小児死亡に関する世田谷区との共同研究

1．研究の目的

チャイルドデスレビュー（Child death review: CDR）とは、子どもの死亡を減らす目的で多職種が連携し、死亡登録と検証をし予防策を講じる制度です。米国では40年前から取り組まれ効果が報告されています。本邦では、改正児童虐待防止法・成育基本法・死因究明推進基本法が制定されCDR制度を構築していく方向性が明記されております。しかし、実際にどのように行うか、どのような法整備が必要かと言った点は明確ではありません。今回、当院と世田谷区でCDRを行い、その効果や問題点を明らかにしたいと考えております。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて、2015年1月1日～2020年3月31日までの間で、死亡確認を行った方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月

研究方法：当院で、上記対象期間に死亡確認を行った方のうち、チャイルドデスレビューが必要と考えられる方を抽出します。これらの方の死因を明確にし、世田谷区と個別症例検討会議を行い、亡くなった方の死を防ぐために考えられる予防策の提言を行います。

個人を特定できる情報は使用しませんが、研究に携わる者は、守秘義務に基づいた個人情報の保護に従い、その取扱いには十分留意します。

3．研究に用いる情報の種類

性別・経過など

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター（責任者：内田佳子）
世田谷区子ども若者部

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究へのお問い合わせの連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科 内田 佳子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7177）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科 内田 佳子